

はしがき

NPO 法人「向日庵」の前身にあたる研究会「寿岳文章一家の業績を調査研究する会」は7回にわたる講演会、研究会を催し、その成果として小冊子『向日庵』を2018年3月に発行しました。

その後、「調査研究会」はNPO 法人「向日庵」に引き継がれ、寿岳一家に関する研究発表会、講演会を7回にわたり開催できました。晴れて今回、これらの活動報告を講演録『向日庵 2』としてまとめることができた次第です。

本書には、寿岳文章と河井寛次郎の交流、及び民藝協会設立をめぐる和紙を中心とした文化活動などが記されています。若き日から寿岳文章が師として私淑した新村出との生涯にわたる人間的交流、昭和初期の向日市の知的環境もまた、十全に紹介されました。

本書には数多くの和紙についての論考が収められていますが、文章が夫人とともに生涯にわたり取り組んだ和紙に関するリサーチは、和紙文化の国際化に寄与した事実もまた照射しているのではないのでしょうか。

NPO 法人「向日庵」は寿岳一家が発信する文化的業績に注目し、多様な側面をご報告していく所存です。皆様、どうか私たちの活動を今後とも見守り、ご支援くださいますよう、衷心からお願い申し上げます。

桜の開花をまつ日

特定非営利活動法人向日庵 副理事長 中村隆一

